



福島県は

子どもたちの  
読書活動を  
応援します!



# 第五次福島県子ども読書活動推進計画ができました

### 基本方針1

子どもが読書に親しむ機会の充実のために

### 基本方針2

子どもの読書環境の整備と充実のために

### 基本方針3

子どもの読書活動についての理解の促進のために



## 中学生・高校生のみなさんへ



ふくしま応援!  
「ペコ太郎」

福島県の中学生・高校生は1ヶ月で何冊くらいの本を読んでいるか知っているかな。

そうだね。実は、小学生では1ヶ月平均約12冊読むのに対して、中学生では約3冊、高校生だと約1.5冊しか読んでいないという結果でした。

特に高校生だと不読率\*も高く、中学生：13.0%、高校生：42.7%という結果だったんだ。

\*1ヶ月で1冊も読まない生徒の割合

「忙しい」「時間がない」「スマホの方が楽しい」というみなさんへ、少しでも読書に興味を持ってもらえるように、役立つ情報をお伝えします!

「はい。私は1ヶ月で10冊は読みます!」  
でも、友達はほとんど読んでいないかも…。

小学生の時はたくさんの本を読んでいて、決して「読書が嫌い」という人ばかりではないようです。

〈本を読まない理由〉(令和5年度「読書に関する調査」より)

中学生	①勉強・塾・宿題などで忙しい ②スマートフォン・携帯などの方が楽しい
高校生	①スマートフォン・携帯などの方が楽しい ②部活動等で時間がない



### ☆ビブリオバトル福島県大会

県内7地区で中学生の部、高校生の部に分かれて予選会を行っています。県大会へは、地区代表1名ずつが参加することができ、県大会優勝者は全国大会へ出場する権利が与えられます。

みなさんもぜひ参加してください!  
もちろん学校や学年・学級でビブリオバトルをやってみるのもいいですね!

ビブリオバトル福島県大会についての記事が掲載されています。



### ビブリオバトルとは…

1. 発表参加者が読んで面白かった本を持って集まる。
2. 順番に1人5分間で本を紹介する。
3. それぞれの発表の後に、参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分間行う。
4. 全ての発表が終了した後に、「どの本が一番読みたくなったか?」を基準とした投票を参加者全員が1人1票で行い、最多票を集めた本をチャンプ本とする。

### ☆福島県内の高等学校では…

図書委員会が中心となった自主的な取組、学校図書館の展示の工夫(進路コーナー、新書紹介、探究コーナー等)、POPづくり、読書ポイント制や表彰形式での読書推進の取組など参考になるおもしろい各学校の取組がたくさんあります。

県立高校における読書活動推進の取組(高校教育課HPより)について



### ☆公共図書館の電子図書館サービス(電子書籍サービス)

福島県内でも電子書籍を貸し出している図書館があります。  
※利用にあたっては、各サイトの「利用ガイド」を参照してください。

①福島市 電子図書館	②郡山市 電子図書館	③いわき市 電子図書館
④須賀川市 電子図書館	⑤伊達市 電子図書館	⑥昭和村 電子図書館

### ☆バリアフリーな読書活動

- ①県立図書館の取組  
みんなが読書できる社会をつくる  
～福島県立図書館の読書バリアフリー推進への取り組みをご紹介します～
- ②福島県点字図書館の取組  
福島県点字図書館は、視覚障がい者と、視覚障がい者を支援する方々のための情報提供施設です。

### ☆お薦めブックリスト・ウェブ本棚サービス

- ①県立図書館のYAブックリスト  
YA(ヤングアダルト):中高生向けお薦めの本を紹介しています。
- ②ウェブ本棚サービス  
ウェブ上に図書館の本棚を設置し、蔵書や新入荷書籍などの情報を随時閲覧できるようにしています。

